

## 和歌山県出土のイダコ壺について

瀬谷今日子(県立紀伊風土記の丘)

### 1 はじめに

このたび、個人蔵の採集資料の中に須恵器のイダコ壺を確認した。これまで和歌山県内ではイダコ壺の出土例がほとんど確認されておらず、これは隣接する大阪府での出土状況と比べて対照的である。

今回は、あらためて県内でのイダコ壺の出土例の集成をおこなった。

### 2 形態と編年(図3)

イダコとは…マダコ科マダコ属。小型で最大でも30cm程度。

胴にたくさんの米粒のような卵を持つことから、イダコ(飯蛸)と名付けられた。

イダコ漁…民俗例によれば、親縄に連なる数十本の枝縄の先にイダコ壺をつけ、海底に沈め、イダコの潜入をまって引き上げる漁。

### 形態

- ・『コップ形 a』丸形で口縁直下に一孔
- ・『コップ形 b』コップ形 a と同形で、口縁直下の孔と別に底部に孔をもつ
- ・『釣鐘形』

### 分布と編年(図3・4)

#### 弥生時代中期

大阪湾沿岸～播磨灘東沿岸でコップ形のものが発達

#### 弥生時代後期～古墳時代前期

弥生時代中期と同様にコップ形のものが出土するが、大阪湾沿岸では若干減少し、播磨灘東沿岸地域で増加

#### 古墳時代中期

ほとんど出土しない

#### 古墳時代後期～

再びイダコ壺の出土が増加し、弥生時代中期に並ぶピークを迎える。この時期に釣鐘形のイダコ壺が発達し、大阪湾や播磨灘のみならず備讃瀬戸などにも分布する。

周防灘周辺では、球形に近いコップ形の一群がみとめられる。

大阪湾沿岸では陶邑古窯跡群で焼成された須恵質のイダコ壺が分布する。

これは飛鳥・奈良時代においても形態は変化せず、平安前期まで連綿と続く。

### 3. 和歌山県内での出土事例(図6・7、表1)

和歌山県内での出土事例は少なく、管見では 8 遺跡で 8 例にとどまった。

そのうち、『コップ形 a』の形態が 2 遺跡 2 例、『釣鐘形』が 6 遺跡 6 例であった。釣鐘形のもの  
はすべて須恵質であった。

なお、吉田遺跡遺跡出土の土器はマダコ壺と考えられ、県内 で確認されているマダコ壺は  
この 1 例のみである。

### 4 新出のイダコ壺について

採集時期:昭和 47~48 年頃

採集場所:大日山 I 遺跡(和歌山市井辺地内)

材質:須恵器

形態:釣鐘形

体部を製作した後、釣り手(縄掛部)をとりつけ、その境を指でなでつけている。紐穴  
は、焼成前に棒状工具により一方向より穿孔している。

形態等から、大阪の陶邑古窯跡群で焼成されたものと考えられる。

### 5 まとめ

#### 【参考文献】

西口陽一 1989 「大阪・イダコ壺」『考古学研究』第 36 巻第 1 号

前田敬彦 2009 「吉備慶三郎氏採集考古資料について(その 3) —和歌山市関戸遺跡—」『和歌山市立博物館 研究紀要  
第 23 号』

和田晴吾 1982 「弥生・古墳時代の漁具」『小林行雄博士古稀記念考古学論考』

和田晴吾 1991 「漁撈」『古墳時代の研究』4

真鍋篤行 1994 「弥生時代以降の瀬戸内地方の漁業発展に関する考古学的考察」『瀬戸内海歴史民俗資料館紀要』第 7 号

真鍋篤行 1995 「弥生・古墳時代の瀬戸内地方の漁業」『瀬戸内海歴史民俗資料館紀要』第 8 号

松岡宏一 2003 「古代の飯蛸壺縄漁に関する一考察(上)」『瀬戸内海歴史民俗資料館紀要』第 16 号

松岡宏一 2004 「古代の飯蛸壺縄漁に関する一考察(下)」『瀬戸内海歴史民俗資料館紀要』第 17 号

橋本市教育委員会 1986 『和歌山県橋本市 血縄遺跡発掘調査概報』

海南市教育委員会 1995 『海南市文化財調査報告書第 21 冊 和歌山県海南市海南市内遺跡発掘調査概報—平成 6 年度—』

和歌山市教育委員会 2003 『和歌山市内遺跡発掘調査概報—平成 13 年度—太田・黒田遺跡第 50 次 川辺遺跡発掘調査』

海南市教育委員会、海南市文化財調査研究会 1995 『海南市文化財調査報告書 22 且来VI遺跡—県道小野田内原線道路  
改良工事ともなう発掘調査報告書—』

財団法人和歌山県文化財センター 1990 『岡村遺跡発掘調査報告書—亀の川中小河川改修工事に伴う発掘調査—』

財団法人和歌山県文化財センター 2003 『西庄遺跡 都市計画道路西脇山口線道路改良工事に伴う発掘調査報告書』

和歌山市教育委員会 2013 『和歌山市加太地域の考古資料—伊喜利良信氏採集資料—』

財団法人大阪府埋蔵文化財協会 1986 『都市計画道路貝塚中央線建設に伴う 脇浜遺跡—発掘調査報告書—』

埋蔵文化財研究会 1986 『埋蔵文化財研究会第 19 会研究集会 海の生産用具—弥生時代から平安時代まで—』資料集 2

埋蔵文化財研究会 2007 『第 56 回埋蔵文化財研究会 古墳時代の海人集団を再検討する—「海の生産用具」から 20  
年—』資料集 第 II 分冊

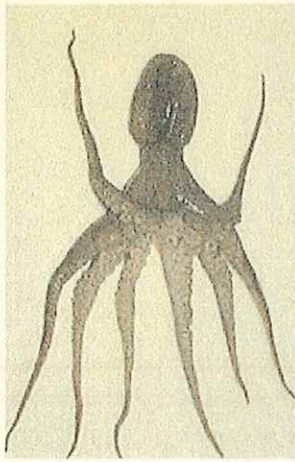


図1 イイダコ

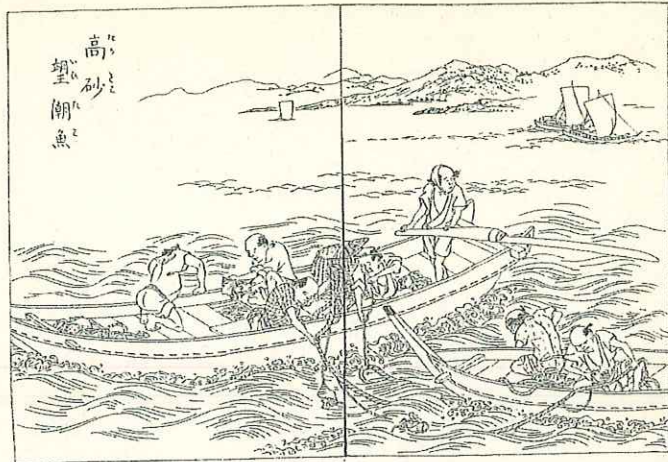


図2 『日本山海名産図会』(寛政11年)

		大 阪 湾	播 磨 灘	瀬 戸 内	北 九 州	
弥 生 時 代	前期				? 郷	
	中 期	Ⅱ様式	菱木下			
		Ⅲ様式	亀井	東溝	断面白ヌキは、弥生土器・土師器 黒塗りは、須恵器	
	期	Ⅳ様式	亀井	東溝		
	後期	亀井	大中	上難波南	蔵ノ元	
古 墳 時 代	前期	亀井北			西新町	
	中期					
	後期	大園	赤根川	大首	天観寺山 下山門	

図3 弥生・古墳時代のイイダコ壺変遷模式図 (西口 1989 より転載)

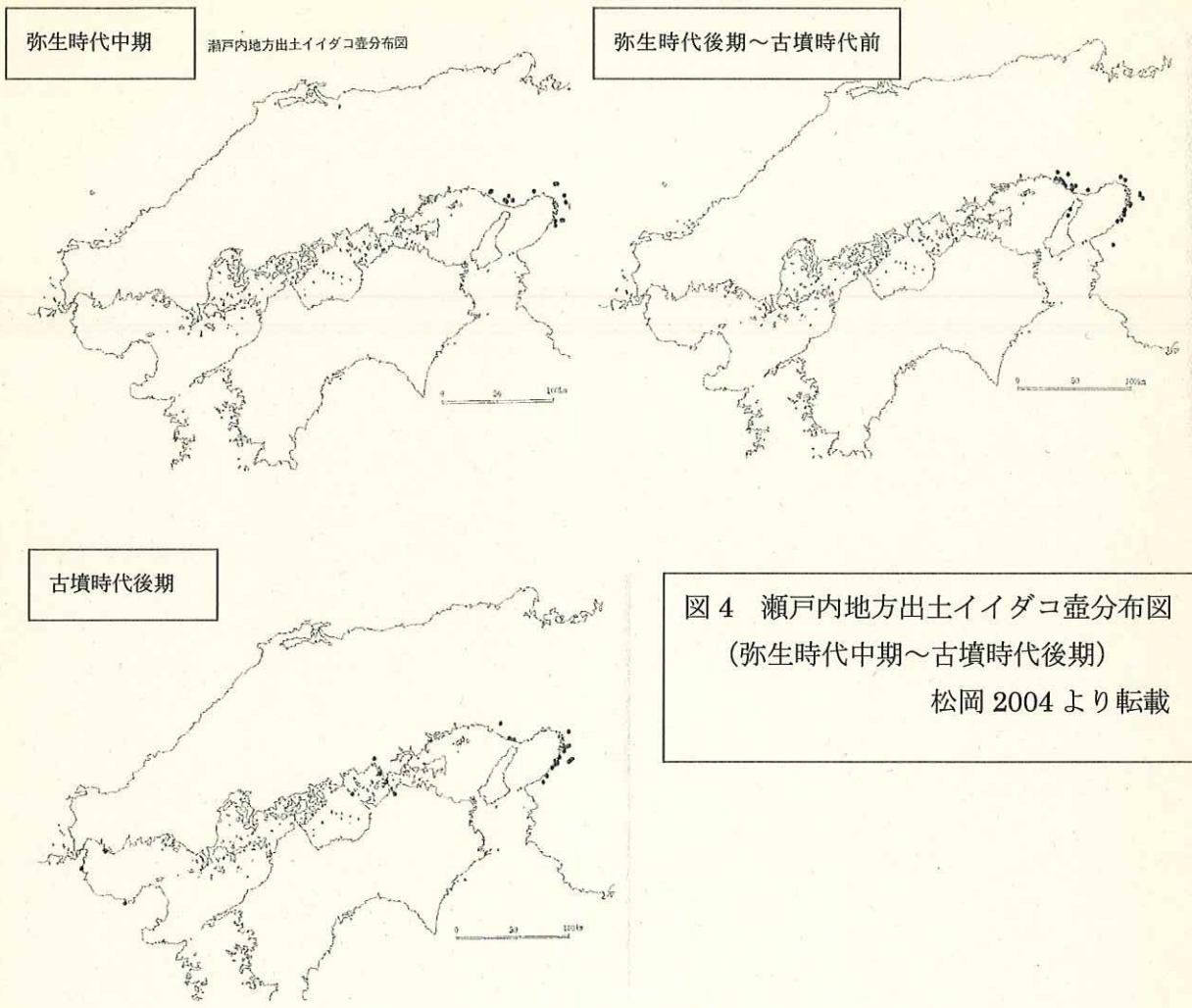


図4 瀬戸内地方出土イイダコ壺分布図  
(弥生時代中期～古墳時代後期)  
松岡 2004 より転載

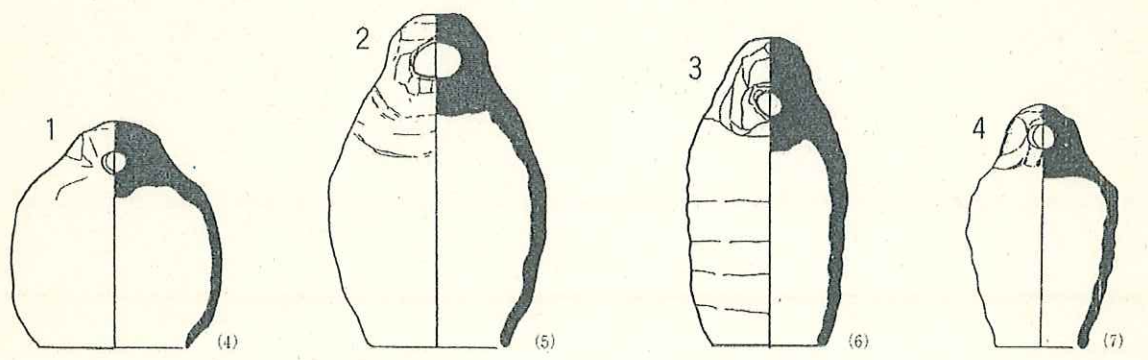


図5 陶邑古窯跡群出土イイダコ壺

1 TG51号窯出土 (II型式)    2 TG68号窯出土 (III型式)    3 KM22号窯出土 (IV型式)    4 TK230-1号窯出土 (V型式)





図6 イイダコ壺出土位置図 (和歌山県)

表1 イイダコ壺出土遺跡一覧

No.	遺跡名	所在地	材質	形態	その他	時期
①	血縄遺跡	橋本市隅田	土師質	コップ形 a		弥生時代中期
②	加太遺跡	和歌山市加太	土師質	コップ形 a	表採資料	弥生時代後期～ 古墳時代
③	岡村遺跡	海南市岡村	須恵器	釣鐘形		古墳時代？
④	太田・黒田遺跡	和歌山市太田	須恵器	釣鐘形		古墳時代？
⑤	西庄遺跡	和歌山市	須恵器	釣鐘形		古墳時代？
⑥	且来VI遺跡	海南市且来	須恵器	釣鐘形		飛鳥？
⑦	大日山I遺跡	和歌山市井辺	須恵器	釣鐘形		古墳時代？
⑧	関戸遺跡	和歌山市関戸	須恵器	釣鐘形		古墳時代？
	※吉田遺跡	岩出市吉田			マダコ壺	

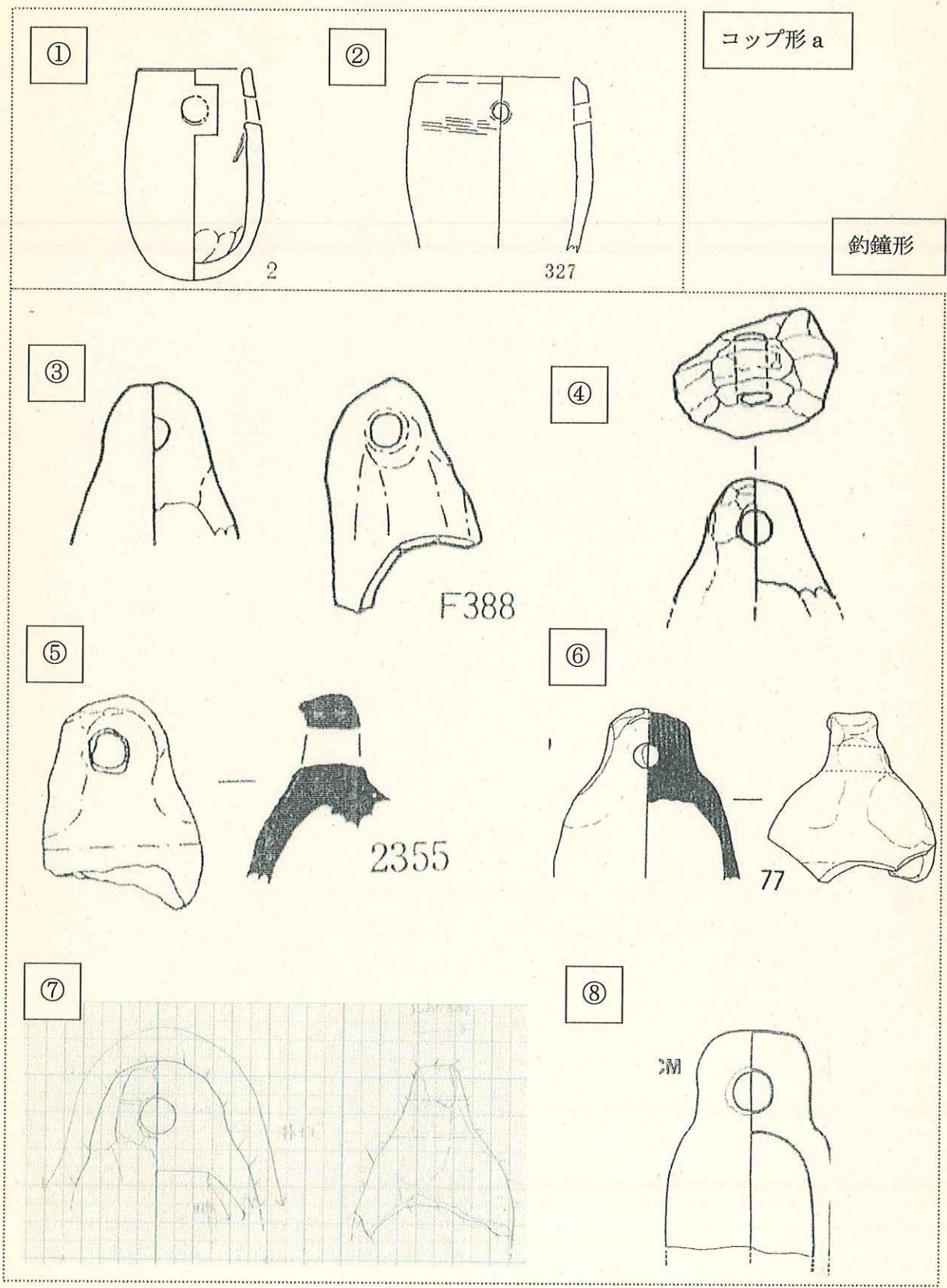


図7 和歌山県内出土 イイダコ壺 (S=1/2)  
 ① 血繩遺跡 ②加太遺跡 ③岡村遺跡 ④太田・黒田遺跡  
 ⑤ 西庄遺跡 ⑥且来VI遺跡 ⑦大日山I遺跡 ⑧関戸遺跡